

局地的豪雨や台風被害 「備えあれば憂いなし」

▶市防災メール登録用二次元コード



近年、局地的豪雨や台風による被害が多発しています。昨年は「令和元年房総半島台風(15号)」と「令和元年東日本台風(19号)」が長期にわたる停電や数多くの堤防決壊を引き起こすなど、甚大な被害を全国各地にもたらしました。国は昨年「避難勧告等に関するガイドライン」を改訂し、災害警戒レベル情報を発信することで避難するタイミングを明確化しました。

自然災害の猛威は、突然襲いかかってきます。自身が居住する地区の土砂災害の危険性、河川の氾濫などの災害リスク、避難ルート、避難場所などを事前に把握しておきましょう。これらは、防災マップや市のホームページなどで確認することができます。また、災害警戒レベル情報についても確認し、早めの避難を心掛けましょう。

一方、新型コロナウイルス感染症は、避難所で感染を拡大させる可能性があります。大勢の人が1カ所に集まらないよう、避難所へ向かう前に自宅の安全な場所に避難すること(垂直避難)や親戚・知人宅に避難することを検討しましょう。また、普段から食料、飲料水、体温計、消毒液、マスクなどの確保・確認をしましょう。

【災害警戒レベル情報表】

警戒レベル1・2 ▶気象庁発表、警戒レベル3以上 ▶御前崎市が発表

警戒レベル	私たちが取るべき行動	行動を促す情報(行政からの情報)	防災気象情報 (気象庁が発表する情報)
警戒レベル5	命を守る最善の行動	災害発生情報 (できる範囲で発表される)	指定河川洪水予報 土砂災害警戒情報 警報 危険度分布など
警戒レベル4	危険な場所から 全員退避	避難勧告、避難指示(緊急)	
警戒レベル3	危険な場所から高齢者などは避難 (他の住民は準備)	避難準備・高齢者等避難開始※	
警戒レベル2	避難行動の確認	注意報	
警戒レベル1	心構えを高める	警報級の可能性	

※「避難準備・高齢者等支援開始」が発令された場合、高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦などの要配慮者も避難を開始する。

【災害警戒レベル別に応じた私たちが取るべき行動】

警戒レベル	私たちが取るべき行動
警戒レベル5	既に災害が発生している状況で、命を守るための最善の行動をする
警戒レベル4	広域避難所などへの避難行動を開始する 災害が発生する恐れが非常に高い状況。避難所などへの避難が、かえって危険と自身が判断する場合は、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な場所へ移動する
警戒レベル3	避難に時間のかかる高齢者などの要支援者は避難行動を開始する。その他の人は避難の準備を開始し、自発的に避難する
警戒レベル2	ハザードマップや防災情報などで、避難場所や避難経路、避難のタイミングを再確認。情報収集手段も確認し、避難に備え準備する 【情報収集】気象庁HP、サイポスレーダー(県サイト)、地上デジタルテレビのデータ放送など
警戒レベル1	防災気象情報などの最新情報に注意する